



2026年5月14日

各 位

会社名：ハリマ共和物産株式会社
(コード：7444東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 土屋 匡輝
問合せ先 取締役経営管理本部長 柳内 成弘
(TEL：079-253-5217)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は2026年5月14日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせします。

記

< 1. 現状分析 >

現状、ROEの直近5期平均は5.9%となっており、当社の株主資本コスト(8%程度)を下回る水準で推移しております。また、PBRは直近5期継続して1倍を下回っている状況となっております。

今後、資本コストや株価を意識した経営を行うことで、企業価値向上を図ってまいります。

(連結業績及び経営指標の推移)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
売上高 (千円)	57,781,122	60,156,181	61,583,283	61,824,355	59,843,192
営業利益 (千円)	1,656,117	1,777,327	1,823,761	1,911,793	1,693,606
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,202,186	1,391,332	1,406,629	1,289,072	1,513,499
営業利益率 (%)	2.9	3.0	3.0	3.1	2.8
ROE (%)	5.8	6.4	6.1	5.3	5.9
PBR (倍)	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4
配当性向 (%)	17.9	15.8	17.2	20.9	21.3
期末株価 (円)	1,646	1,636	2,407	1,956	1,988

< 2. 改善に向けた方針・取り組み >

(1) 方針

現状を踏まえ、当社は中長期的な収益性の向上と株主還元の充実を図るべく、資本コストや株価を意識した経営施策に取り組むことで、継続的な ROE の向上を目指してまいります。

(2) 取り組み

① 持続的な成長と事業拡大

地盤である関西の商流及び物流の機能をさらに強化する一方で、中部・関東方面の商流及び物流の拠点も拡充し、商圈の拡大を図るとともに、堅実な事業成長と収益の確保に取り組んでまいります。

② 株主還元の実現

安定的かつ継続的な配当を重視しつつ、その水準については各期の財政状態及び業績を考慮し、適切に判断しております。なお、配当性向につきましては、近年 10% 台後半で推移しておりましたが、2025 年 3 月期では 20% を超え、2026 年 3 月期では 21.3% となります。また、2026 年 3 月期より株主優待制度を導入いたしました。今後も様々な取り組みを通じて株主の皆様と一層良好な関係を築き、企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上